

ビジネスに効く科学 連続シリーズ

先端研究機関からの招待状

～ 官民協業の道を探れ！～

主催：東京商工会議所 北支部 後援：文部科学省、北区

先端研究というと、自分達からは縁遠いものと考えていませんか？

現在、日本では様々な分野の研究が学術研究機関で行われていますが、その中の一つに「大学共同利用機関」という存在があります。これは「国公私立全ての大学の共同利用の研究所」として、個々の大学では整備・運営が困難な最先端の大型装置や大量の学術データ、貴重な資料等を、全国の研究者に提供することを通じて大学の枠を越えた共同研究を推進し、関連する研究分野の研究水準の向上を図ることを目的とする我が国独自の学術研究機関です。

ここで行われる研究を支えているのが、中小企業の技術力です。そこで、中小企業の力が研究で活かされている現場の物語を紹介するとともに、今、求められている技術や研究成果から想像される日本の未来について、研究の第一人者が案内する連続講演会を開催し、官民協業の道を探ってまいります。

普段、あまり接することのない最先端の研究内容に触れる機会です。知的好奇心を刺激しつつ、新たなビジネスのヒントを得るチャンスとして、様々な分野の皆様のご参加をお待ちしておりますので、是非、ご参加ください。

【概要】

タイトル：「先端研究機関からの招待状」

対象：日本の先端研究に関心をお持ちの事業者（非会員も参加可能）

実施日程：2017年度 春・夏・秋・冬の4回連続シリーズ（単発受講可）

開催場所：北とびあ 会議室（北区王子1-11-1）※8月のみ国立天文台で実施

内容：講演会＋交流会形式。講演会で、日本の最先端の研究を紹介しつつ、そこで活躍する中小企業の技術や今後求められる技術を説明を行い、あわせて交流会を開催することで、産学連携を推進する。



第1話（6月13日開催）

「ロボットは人の脳を超えるのか?!」

演題：これまでのAI・これからのAI
Presented by 国立情報学研究所

人工知能AIが話題となっていますが、AIが人間と同レベルの知能を実現することはまだまだ困難です。将来におけるAIの望ましい姿として、人間と役割分担をして共生していくことが重要となります。本講演では、スタンドアローンのAIからインタラクティブな人工知能へのパラダイムシフトについてお話しします。



第2話（8月3日開催）

「宇宙生命の存在を探れ！」

国立天文台を見に行こう」

演題：宇宙生命は存在するか？天文学からのアプローチ
Presented by 国立天文台

シリーズ第2回は教室を飛び出し、実際の研究現場の視察として、三鷹の国立天文台を訪問します。宇宙生命について天文学からの考察をいただくとともに、日々、研究が行われる現場で、求められる技術についても伺っていきます。



第3話（11月20日開催）

「“正しい”日本語は変化する？ 言葉の海を探索する最新技術」

演題：音声⇔文字 現在⇔過去 言語資源研究の最前線
Presented by 国立国語研究所

飲み屋で語られる生きた日本語から悠久の過去の文書に残された日本語まで、膨大なデータを国語研では集めています。これらの言語資源が言語研究の新しい可能性を開くと同時に情報処理技術の進化にも貢献している現状を紹介していただきます。



第4話（2月27日開催）

「加速器でガンを治療する？ 話題の加速器がもたらす未来」

演題：最先端加速器がもたらす未来
Presented by 高エネルギー加速器研究機構

最先端の物理学研究で使われる加速器。我々の生活の身近なところでも利用されています。最終回の第4回は近年ノーベル賞でも話題となった加速器という装置がもたらす未来について迫ります。



※イベント名、演題は現時点のものであり、変更される可能性があります。